



奈良女子大学同窓会佐保会

滋賀支部だより

平成 28 年 2 月 10 日
佐保会滋賀支部

厳しい寒さが続きますが、皆様お元気でお過ごしのこととおよろこび申し上げます。

今回の支部だよりでは、総会のご案内をしています。その他には、新役員 2 人の寄稿、佐保塾史跡めぐり参加の報告、本部行事の紹介など載せています。佐保会報、TODAY、おうみ佐保塾のちらしとあわせてお読みください。

平成 28 年度佐保会滋賀支部総会のご案内

日時：平成 28 年 6 月 5 日（日）10：30 より（受付 10：15）

会場：琵琶湖ホテル 懇親会費：5,000 円 本分会費：1,500 円 支部会費：1,000 円

総会・講演会・懇親会

講演会 『天国に二番目に近い島』

講師 西村紀代美さんのプロフィール

大阪府生まれ。S55.3 に大阪女子大学（学芸学部基礎理学科）卒業。S58.3 に奈良女子大学大学院（物理学専攻）修士課程修了。企業で研究員として 2 年半勤務後、県立高校で数学教師として 27 年間勤務。3 年前に早期退職して国際協力機構（JICA）のシニアボランティア（SV）に参加。2 年 3 ヶ月間（2013.10～2015.12）数学教育の支援活動のために Vanuatu 共和国の教員養成学校（VITE）に派遣。

西村さんからのメッセージ

バヌアツと聞いてもほとんどの方が「どこにあるの？」と思われることでしょう。フィジーとニューカレドニアの間にある 83 の島々からなる共和国です。面積は新潟県（滋賀県の約 4 倍）くらいで、人口は約 27 万人（大津市はおよそ 33 万人）です。英仏共同統治下から独立して 30 余年の若い国です。昨年 3 月のサイクロン PAM（およそ 900hp）の際に日本のメディアでもその被害が紹介されたのでご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

2 年余りの間、首都ポートビラにあるバヌアツ教員養成学校（VITE）で数学教育のボランティアをしました。地元のママたちが野菜等を売っているマーケット、伝統文化、小学校の様子など、その間に見聞きしたことや感じたことを写真や動画を用いてご紹介いたします。Vanuatu 共和国を少しでも身近に感じていただければ幸いです。



生徒たちと

*4 月に総会資料とともにご案内をお届けします。ご予約に入れておいてください。

我が家のアルバム

地区委員・小南葉子 (S57・家住)



花かつおのコマーシャルのこんな曲をご存知ですか？

「ぼーくの隣のお婆さんは～アメリカ帰りのお婆さんで～、へーんな言葉で言うんだよ♪『コレニホンノカオリ！ハナカツオのカオリ！・・・』」

幼いころ意味もわからず聞いていたこの曲をふと思い出したのは滋賀県の山路町（東近江市）に嫁いでまもなくのことでした。

主人で三代目のこの家は、カナダ帰りの祖父が帰国後に始めた家とは聞いていましたが、大正生まれの義母が、「サナダ、サナダ(サラダ)言うて野菜を生でたべることを嫁いできて初めて知ってな。この辺は、長男が全部相続するから、弟たちは皆外国に稼ぎに出かけ、戻ってから田畑や家を手に入れて。丸竹（※屋号で呼び合う）さんところのお婆さんも英語を上手にしゃべらった。」その話を聞いてふと、昔聞いたあのCMの曲とその背景に気づかされました。

当時多くの日本人が、移民として海外に渡り働き、成功された方は多くはありません。カナダに働く祖父に、会うこともなく嫁ぐと決め、約束が書かれた1枚の紙を握りしめて海を渡る逞しい祖母。写真の後に三女を出産したのは、帰国の船の中と聞いています。とうてい私には想像もつきませんが、我が家にはそんな大正初期の海外の貴重な写真が残っています。

私は、この地特有の地下水が家の中に湧き出る光景すら驚きで、初めてのしきたりや行事など、家族や、地元の方々の理解に支えられての今があります。先代のこの気持ちの強さを 子供たちが受け継いでくれるようにと思っています。

冬の湖国の食だより

地区委員・塚田多佳子 (S51・文教)

「寒い寒い！」冬になるとそれが口癖の私は、湖北米原に嫁いで40年。ここら辺りは、湖面を渡る北西の風と伊吹嵐（卸）がぶつかる豪雪地帯でもある。

車がなかった昔の人は、冬は家に籠っていたのだろう。その故か湖北は手間と工夫を凝らした美味しい冬の食が多い。白菜の重ね漬、鮎の子まぶし、大根とにんじんのこうじ漬など様々だ。

報恩講に供せられる「お講汁」という郷土食がある。大きめに面どりされた蕪をじっくり煮込みそ仕立ての汁に一晩寝かせたそれはふくよかに甘い。寒さが蕪や野菜を甘くする。冬の空に竿に並んで干



伊吹山

される赤蕪もここの風物詩だ。赤蕪の糠漬け、粕漬け、甘酢漬け、切り漬け。地域の女性たちが腕を競い、自慢の味を持つ。

この地の米も美味だ。伊吹の雪が地下水となり米を育てる。米で餅をつきかき餅を作る。火鉢でこんがり焼いたかき餅を掘りごたつで食した子どもの頃が懐かしい。

ほっこりゆっくり時が流れる湖北の冬も良いものである。

佐保塾史跡めぐりに参加して

支部長・浅野純子（S50・理化）

10月8日に開催された佐保会本部と大阪支部共催史跡めぐり「『大坂夏の陣 400年』と大阪城を歩く」に参加しました。当日の参加者は60名、滋賀からも4名が参加しました。

まずは大阪城を目の前にしたKKRホテル大阪で「大坂夏の陣 400年 その実態と『元和堰武』の意味を考える—『黒田屏風』を手がかりに—」と題した講演を渡辺武元大阪城天守閣館長から伺いました。「大坂夏の陣図屏風」（黒田家伝来、現大阪城所蔵）の映像を映してのご講演で屏風に描かれた当時の様子を要所所拡大してお話ししていただきました。この屏風には有名な真田幸村が徳川家康を追い詰めている場面など合戦の様子が描かれているのですが、苦しめられる民衆の様子など戦いの悲惨さも克明に描かれていて、この屏風絵はピカソのゲルニカを思わせると仰ったことが印象的でした。

昼食後、大阪城天守閣の見学に行きました。その途中でも堀や櫓について熱心に御説明いただき、漫然と歩いているのではわからない大阪城の姿を見ることができました。先にご講演をいただいたことにより後の大阪城見学がより理解の深いものになったと思います。

高校での子弟の関係にあった方たちが参加されていたり同窓会ならではの史跡めぐりでした。次の佐保塾史跡めぐりは兵庫県支部による「有馬温泉の歴史散策」と聞いています。少し足を延ばして参加してみませんか。



大阪城公園

お知らせ

稲葉カヨ氏武田医学賞受賞記念祝賀会 平成28年3月5日（土）

講演会 10:30-12:00

演題 「免疫の始動—樹状細胞と共に歩んだ道—」

場所 佐保会館 2階 大ホール 会費 無料

懇親会 13:00-16:00

場所 大学会館食堂 会費 5,000円

申し込み締め切り 平成28年2月19日（金）

*詳しくは「佐保会報」、佐保会ホームページをご覧ください。

「佐保塾 万葉の旅」のご案内

佐保塾 万葉の旅—処女塚古墳と春の淡路島万葉—

実施日 平成28年3月30日(水)

*詳しくは佐保会ホームページをご覧ください。

第14回おうみ佐保塾

演題 「近江のかくれ里」刊行の舞台裏

講師 近江の文学研究者 いかいゆり子 氏

日時 平成28年4月26日(火) 13:30-15:30 (受付 13:00より)

場所 草津市立まちづくりセンター 302号室

参加費 500円

*同封のちらしをご覧ください、是非ご参加ください。

第17回佐保塾 史跡めぐり

平成28年11月10日(木)

日本三古湯 有馬温泉の歴史散策 —泉源と紅葉を訪ねて—

*詳しくは佐保会兵庫県支部ホームページをご覧ください。

出版のお知らせ

松本匡代さん(S60 理物)が3月に小説「石田三成の青春」(サンライズ出版)を出版されます。

本部行事への参加のおすすめ

佐保会本部では同封のチラシにのっているような多彩な行事を行っています。思いがけない方との再会もあるかもしれません。詳しくは佐保会ホームページをご覧ください。

お 願 い

- ・3月15日までに平成27年度の会費納入をお願いいたします。未納の方には振り込み用紙を同封しています。既にお振込み済みの場合はご容赦ください。振替口座をお持ちの方はご利用ください。
- ・住所・電話番号などを変更された方は支部長までご連絡ください。
- ・滋賀支部ではホームページを開設しています。「佐保会滋賀支部」でご検索ください。

鶯の音が聴けるようになるまであと一息。まだまだ寒い日もありますのでどうぞご自愛ください。

おうみ佐保塾、総会でお会いできるのを楽しみにしています。

